

後期始業式 式辞 ～世界が感じる日本の美德～

現在、様々なテレビドラマが放映されていますが、どれだけ多くの人に観られたかを示す指標として視聴率があります。一般的に視聴率は、10%を超えれば大成功と言われ、20%を超えれば名作として語り継がれます。日本では年間およそ100本のドラマが制作されますが、2000年以降視聴率が20%を超えたドラマは30本程度です。令和5年度の視聴率を調べてみると、視聴率第1位は「ブギウギ(朝の連続ドラマ)」で平均視聴率は15.8%でした。ちなみに、この10年間で最も平均視聴率が高かったのは「半沢直樹」の29.1%で、このドラマは今でも多くの人の記憶に残る作品と言えます。

これまで放映されたテレビドラマの視聴率を調べてみると、平均視聴率第1位は52.6%の作品で、最大視聴率は62.9%という驚異的な数字を残しています。そして、その作品は68カ国で放映され、世界各国で社会現象を起こしました。フランスでは最大視聴率100%を記録し、放映時間には街から人が消えたそうです。タイでは放映時間に被らないように大臣達の閣議の時間が変更され、ベルギーでは修道院の尼僧がこのドラマを観るために、お祈りの時間を設定したとのことです。最も大変だったのはエジプトで、放映の最中に停電が起り、観ることが出来なかった市民が怒りを露わにし、テレビ局と発電所に投石や放火をしたとのことです。そして、この騒動を抑えるために政府が再放送を約束する声明を出して、沈静化を図ったとのことです。このように、世界で大きな社会現象を起こした日本のドラマとは、現在でも知る人ぞ知る1983年に放映されたNHKの連続テレビ小説「おしん」です。このドラマは、明治から昭和にかけて激動の時代を生き抜いた主人公 谷村しん(おしん)の生涯を描いた作品です。貧困、奉公、いじめ、震災、戦争など苦難に遭いつつも決してあきらめず、生涯を生き抜いた強い女性の生き様が全297話に描かれています。

では、なぜ「おしん」が社会現象になるほど人々を熱狂させたのでしょうか。私の見解をお話しさせていただきます。理由の一つは、おしんを演じた女優の素晴らしい演技によるものです。特に幼少期を演じた小林綾子さんの演技は、日本を超え、時代を超えて賞賛されています。彼女の演技に多くの人が心酔し、ドラマと現実の区別がつかなくなった視聴者により、「おしんに渡して欲しい」と大量の米と多額の現金がNHKに送られてきたエピソードがあります。

そして、もう一つの理由は、作品の中に「人として大切なものは何か」というメッセージが込められているからです。おしんは第2次世界大戦で息子を失い、夫を亡くすことになり、さまざまな辛酸をなめながら露店商や食堂、魚の行商をして生き抜きます。しかし、数々の不幸に遭遇する中で出会った多くの恩人との関わりにより、人としての強さを手に入れることになります。そしてその強さを武器に、人の信用と信頼を獲得することになり、日本で初めてスーパーマーケットを起業し社長となります。

ドラマ「おしん」から発信されたメッセージは単純なものです。「いつも人に対して『やさしさ』と『思いやり』を持っていますか」「どんなときも『希望』を失っていませんか」「たった一度の人生を精一杯生きていますか」。このメッセージに世界各国が反応し、人として大切な生き方の象徴として世界を魅了しました。そして、この3つの人間性こそが、おしんが獲得した強さです。

世界が理想とする人間像は、時代の流れにより大きく変化するものではありません。特に「やさしさ」と「思いやり」は、これから生きていく上で最大の味方になり武器になると思います。「やさしさ」と「思いやり」を持った人は、「他人の利益」になることを感じるようになり、人のためにそれをやってみたいという願望が生まれます。それを成し遂げると周りから感謝され、自分自身は幸福を感じるようになります。しかし、ここで言う「他人の利益」は、実は自分の利益になっていることに気付いてください。例えば、ミシュランで3星を獲得するシェフや行列が出来る店の店長は、最初「自分の料理で多くの人を喜ばせたい」という強い願望を持ちます。その後、人を喜ばせる料理の追求に没頭する日々を送り、やがてその料理を求めて人が集まり、多くの賞賛を得ることになります。つまり、「人のために」という強い願望により、次第に行列ができる店になって自分も多くの利益を得ることになります。そして、この経験は人として大きな成長を獲得することになり、更に成功へと導くことになります。

校長としての思いはただ一つです。卒業後、どの道に進むにしても、どうか幸せな人生を送ってもらいたいと言うことです。そのために、本日皆さんにお話しをさせていただきました。本校での多くの学びを通して、どうか「やさしさ」と「思いやり」を持った、そして人から愛される強い人になってください。後期も実りある高校生活を送ってくれることを願っています。

令和6年10月2日

兵庫県立西宮香風高等学校長 桑田 圭介